ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN WEEKLY BULLETIN

創　立　1969. 5. 30　　会　長　小林正啓
幹　事　金山信利　　会報委員長　元氏成保

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ
NO. 2509
2021-11-12

事務所　〒542-0012 大阪市中央区谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898　FAX(06)6796-9899
https://osakajonan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

Rotary　Serve to Change Lives
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
2021-2022年度国際ロータリー会長 シェカール・メータ

本日の例会

11月12日（第2例会）

●例会場 シェラトン都ホテル大阪　3階　志摩の間
●卓話　「ロータリーは人をつくる…。」
上　敏郎会員
●食膳　＜中国　御膳料理＞

次週のお知らせ

11月19日（第3例会）

●例会場 シェラトン都ホテル大阪　3階　志摩の間
●卓話　「令和の弁護士業界」
元氏成保会員
●食膳　＜フランス　肉料理＞

次々週のお知らせ

11月26日（第4例会）

●例会場 シェラトン都ホテル大阪　3階　志摩の間
●卓話　「東京オリンピック、ゴルフ競技の裏話と中小企業M＆A実体験について」
大東将啓氏
（山口 寛会員担当）

先週の記録

11月5日（第1例会）

●出席報告

出席会員36名（内免除会員6名）
会員総数46名（同上12名）
ゲスト　1名
ビジター　0名
計37名

ホームクラブ出席率90.00％
10月22日（第4例会）補正出席率100％（MU4名）

◆会長の時間◆

ロータリークラブは、世界組織RIの下に数千の地区があり、このうち第2660地区は6組に分かれ、当クラブが所属する第6組の会長・幹事が数ヶ月に一度集まり協議する場を「六輪会」と呼びます。11月10日（水）の「六輪会」では、ガバナー補佐の選出方法が協議される予定です。ガバナー補佐は一組から1名選出されることとなっていますが、近年引受け手が減っていることから6組を3つにわけ、3年に一度の輪番制で選出することになりそうです。境会員や畑田元会員が務めたガバナー補佐の輩出はクラブの名誉ですが、本人には多大な負担を課すため、地区の人材不足が深刻と感じました。

◆幹事報告◆

○11月のロータリーレートは、1ドル＝114円となります。
○国際ロータリー日本事務局（東京都港区）は、新型コロナウイルス感染の再拡大防止対策、ならびに東京都の基本的徹底対策期間におけるテレワーク促進の依頼等を鑑みて、2021年11月30日（火）まで在宅勤務を延長させて頂くこととなりました事、お知らせ申し上げます。

◆委員会報告◆

ロータリー財団・米山奨学委員会　村上泰啓委員長
今年度初めに会員の皆様にお願いしましたロータリー財団及び米山奨学会への特別寄付のお願いです。
例年、この特別寄付のお願いをしておりロータリー財団・米山奨学会への寄付の意義やその重要性については、十分ご理解頂いている事と存じます。
つきましては、本年度も会員当たりロータリー財団寄付150米ドル、米山奨学会寄付3万円のご寄付をお願いしております。
コロナ禍の昨今、誠に申し訳ありませんが、何卒趣旨をご理解頂き、ご協力くださいますようお願い申し上げます。
尚、8月1日以降にご寄付を頂いた方は、中谷会員、内藤会員、三宅会員、石濱会員、井上会員の皆様です。

親睦・出席委員会　山本英樹委員長
12月10日（金）午後6時より、年末家族懇親会を開催いたしますのでご家族の皆様お誘いの上、多くの方の参加をお持ちしています。

卓話

11月5日〈第1例会〉

「米山奨学生を終了して」

2017－2018年度　米山奨学生　黄 勉氏
（西谷雅之会員担当）

私の名前は黄勉です。2012年3月に日本にきました。来年の3月になるともう10年になります。最初の2年間は日本語学校で日本語を勉強しました。次の4年間は立命館大学に進学し、卒業後「株式会社GS ユアサ」に入社しました。
入社後、最初の3年間は経理部に所属しました。今年の4月から海外拠点業績管理部門に異動し、

ロータリー財団月間

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか　みんなに公平か　好意と友情を深めるか　みんなのためになるかどうか

現在は弊社中国拠点の業績管理を担当しております。本日の卓話は3つの小テーマから進んでいきたいと思います。

1つ目は「ロータリー精神習得」についてです。2017年4月から2018年3月までの1年間にロータリー米山奨学金の受給者として、ロータリアンの方々に非常にお世話になりました。ロータリークラブという組織を知ったのは学校の先生からの紹介です。大学3年生の時、米山奨学金の案内が学校から届きます。学業に専念したことの認めですが案内が届いたら、絶対奨学金をもらえるわけではありません。学校の事務所に応募申請書を提出し、審査に通れば学校内の面接を行います。合格率が50%しかなかった記憶があります。面接に通れば正式に推薦してくれます。そして、ロータリー米山奨学金の面接があります。そこで通れば正式に米山奨学生として入会することができます。

実は最後の米山奨学金の面接官が、今日の卓話にお誘い頂いた岡部(倫)さんでした。面接の日は非常に緊張しましたが、岡部(倫)さんが親切な笑顔でお話して頂いたことをよく覚えております。

「本当に優しいですね」というロータリアンへの最初の印象をつけました。ありがとうございます。

入会後の1年間で、ロータリアンと毎週の例会にロータリーの行動規範を復誦することで自然に覚えた「真実かどうか」「みんなに公平か」「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるかどうか」という4つのテストがロータリー精神として身につきました。

2つ目の小テーマは「私の社会貢献」です。社会人になってから、最初の2年間は何もわからない状態でした。私は外国人で日本語に問題がありましたし、日本のビジネス習慣が一切わかりませんでした。幸い会社の上司や先輩たちが全然気にせず、会社のこと、業務のこと、日本の文化などを少しずつ教えてくださいました。

よく覚えているのは初めて会社の外線電話を取ることです。社内研修で練習したことがありましたが、所属部門に配属後、初めて外線電話がかかってきたとき、怖くて受話器を取ることができませんでした。電話が2、3回鳴ったら隣の先輩が「私が取ります」と言って、受話器を取ってくれました。当時私の気持ちは非常に複雑でした。失敗感、羞恥感、無力感が混ざって、一生忘れられない出来事となりました。電話が終わったら、先輩が「大丈夫ですよ、私も最初こんな感じでした」となぐさめてくれましたが、その日仕事を終えて家に帰り、電話対応を50回以上練習しました。同じような挑戦は、入社後の2年間にいくつもありました。つらかったですが、自分自身の成長も大きかったです。入社3年目になると、電話、メール、他部門との折衝、自分自身の意思表明などが全部問題なく対応できるようになり、少し自信がつきました。そして、私にも後輩ができて教える側になりましたので、親切に丁寧に教えることに心をかけ、先輩からもらった優しさを全部後輩に伝えました。自分自身の成長、一人前の社会人として仕事の遂行、会社の後輩への丁寧な指導は短い社会人生活の中の社会貢献でした。

最後の小テーマは「今後の展望」です。日本に留学に来てから、本当にたくさんの人々に助けてもらいながら、今の自分にたどり着きました。学生時代から将来、日本と中国の架け橋になって、お互いの好意や友情を深めるために自分の力を尽くしたいという目標を定めており、今も変わりがありません。まずは自分の周りの人に、日本のいいことを伝えようとしております。

自分の努力で両親の友達の子とか、いとこの妹を合わせて4人が日本へ留学にきました。彼らの留学書類は全部私が翻訳しました。これから仕事や社会活動を通じてより多くの人と知り合って、日本の好意をより多くの人に伝えたいと考えております。これは、私の今後の展望となります。

▲11月誕生日(左から宮田会員、中本会員)

▲11/5例会の御膳

にこにこ箱

11月5日(第1例会)

- 黄さん、本日卓話よろしくお願いします。
  小林(正)会員
- 黄君をお迎えして。
  西谷会員
- 黄勉さん、本日卓話よろしくお願いします。
  岡部(倫)会員
- 後期高齢者となります。
  中本会員
- トイレ故障により、事前に会場の変更連絡することが出来ず申し訳ございません。
  勝島会員
- 早退おわび
  光信会員
- その他、お祝い　10件

(編集担当　野村・細川)

会員増強にご協力を!!